



平成 19 年 11 月 16 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 コ ジ マ
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 小 島 章 利
(コード番号 7513 東証第一部)
問 合 せ 先 取 締 役 兼 常 務 執 行 役 員
経 営 企 画 室 長 寺 崎 悦 男
(TEL: 028-621-0001)

業績予想の修正に関するお知らせ

平成 19 年 5 月 15 日発表の平成 19 年 9 月中間期(平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 9 月 30 日)および平成 20 年 3 月期(平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)の業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 平成 19 年 9 月中間期連結業績予想の修正(平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 9 月 30 日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想(A)	261,970	2,065	2,633	1,367	35.13 円
今回修正予想(B)	254,910	3,189	940	64	1.66 円
増減額(B-A)	7,060	1,124	1,693	1,303	-
増減率(%)	2.7		64.3	95.3	-

(ご参考)

前期実績 (平成 18 年 9 月中間期)	254,245	2,595	2,198	1,173	30.15 円
--------------------------	---------	-------	-------	-------	---------

2. 平成 19 年 9 月中間期個別業績予想の修正(平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 9 月 30 日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想(A)	261,620	2,075	2,618	1,357	34.87 円
今回修正予想(B)	254,606	3,188	934	59	1.52 円
増減額(B-A)	7,014	1,113	1,684	1,298	-
増減率(%)	2.7		64.3	95.7	-

(ご参考)

前期実績 (平成 18 年 9 月中間期)	253,936	2,594	2,195	1,173	30.16 円
--------------------------	---------	-------	-------	-------	---------

3. 平成20年3月期連結業績予想の修正（平成19年4月1日～平成20年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	529,700	4,449	5,330	2,578	66.25円
今回修正予想（B）	517,420	5,087	3,455	1,174	30.17円
増減額（B - A）	12,280	638	1,875	1,404	-
増減率（％）	2.3	-	35.2	54.5	-

（ご参考）

前期実績 （平成19年3月期）	501,335	5,547	4,354	1,917	49.28円
--------------------	---------	-------	-------	-------	--------

4. 平成20年3月期個別業績予想の修正（平成19年4月1日～平成20年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	529,000	4,469	5,300	2,558	65.74円
今回修正予想（B）	516,766	5,096	3,434	1,159	29.79円
増減額（B - A）	12,234	627	1,866	1,399	-
増減率（％）	2.3	-	35.2	54.7	-

（ご参考）

前期実績 （平成19年3月期）	500,656	5,563	4,332	1,903	48.91円
--------------------	---------	-------	-------	-------	--------

5. 修正の主な理由

（中間期における連結および個別）

売上高は、薄型テレビが単価のダウンはあったものの、順調にその台数を伸ばし、懸念された前年のWカップ需要の反動減は軽微となった一方で、DVD-Rの販売は伸びず、また、パソコンが新OS搭載による寄与度が期待されたほどではなく、加えてエアコンも最盛期である7月が長梅雨と台風の影響で低位の伸びとなったことから、売上高は前年同期比0.3%増にとどまる見込みとなりました。

利益面では、こうした販売動向を受けて、粗利率や経費支出の抑制など効率改善に努力いたしましたが、売上高の計画割れによる利益への影響を補うには至らず、計画を下回る見込みとなりました。

（通期における連結および個別）

通期の業績予想につきましては、中間期における業績を踏まえ、通期業績予想を修正いたしません。

以上